

### 第3回 志染・緑が丘中学校区統合準備委員会 議事録（要旨）

日 時： 令和2年3月3日(火) 午後7時～7時45分

場 所： 志染町公民館

出席者：

構 成 員 三宅仁見 藪本耕一 田中隆次 大西秀樹 今枝睦典  
猶原恵理 東口由美 南雅士 山本学道 前田義典  
野口博史 金川悟 西臺士郎 横田浩一 高郷裕次  
事 務 局 石田英之教育総務部長 奥村浩哉教育振興部長  
坂田直裕学校教育課長 長池陽作教育施設課長  
鍋島健一学校教育課副課長 山本智康学校教育課主査  
小柳陽学校教育課主査

#### 1 開会（委員長あいさつ）

（委員長）

新型コロナウイルスの感染が拡大しているという状況の中で、学校現場や教育委員会は混乱していることと思うが、統合準備委員会も非常に重要であるので、委員の皆様には十分な審議をお願いしたい。

審議に先立って、本委員会は委員18人で構成されており、現在15人が出席されている。したがって、委員の過半数が出席されているので、本日の会議が成立していることを報告する。

また、本委員会の会議は原則として公開することとしているが、個人に関する情報を取り扱う場合など、協議する案件によっては非公開とすることができることになっている。非公開とすべき内容があれば、申し出ていただきたいと思うが、皆様いかがか。

#### 【非公開該当事項なし】

それでは、本日の会議についてはすべて公開として開催する。

会議の進め方は前回と同様に、部会長から部会での協議内容をご説明いただくが、部会の協議において方向性を定めた内容については「報告事項」として報告願う。本委員会で承認を得なければならない内容は「承認事項」として提案願う。また、部会で協議中であるが、本委員会でも協議願いたいという内容があれば「協議事項」として提案願う。

部会長からの報告の後、質疑応答の時間や協議する時間を設けたいと思うが、こういう時期であるので、1時間以内で進めていきたいと思う。ご協力をお願いします。

#### 2 報告事項

(事務局)

- ・体調不良の際の退室について
- ・会議中の換気について

3 各部会からの報告及び協議

(1) 総務部会

(部会長)

第3回総務部会を2月13日に志染町公民館で行い、校章・校歌・校訓等について検討した。

校章について、両校の校章がどのように制定されたのか、その経緯を確認した。志染中学校は校内委員会で教員がデザインをし、緑が丘中学校は生徒、地域の方へ公募したものの中から専門家が選び、デザインの調整をして決定したということだった。

校歌については、緑が丘中学校の著作権の問題を調べたところ、作者は御逝去されていて、変更や追加についてご遺族の了承は得られた。しかし、校舎も含めて、開校当時の地域の様子をもとにして校歌を作った作者の想いや背景を考慮すると、それを変更するのはどうなのかという意見もあった。

また、その他の意見として、志染中学校に在籍した生徒が卒業するまでの2年間は、儀式等で両校の校歌を歌唱してはどうかという意見もあった。

校訓については、志染中学校の特徴的な言葉である「かつ達（闊達）」を入れることを考えてみてはどうかという意見が出ている。

また、校訓とは、学校の創立時に、その学校で生徒が目標にするものとして制定されたものであるから、現在の緑が丘中学校の校訓のままでいいのではないかという意見もあった。

校章・校歌・校訓については、PTA部会で保護者アンケートを実施されるということなので、その結果を参考にして検討したい。

学校記念財産については、これまでの卒業記念品として、記念碑、壁面の絵・陶板、造形物、寄贈碑（像）、時計、掲示ボックス、冷水器、テント、カメラ、テレビ、樹木等がある。閉校後、これらのものをどうするか検討している。学校や志染町公民館の一角に集める、樹木は加工して記念品にする等の意見があるが、学校の跡地利活用の進展を見ながら検討していく。

閉校式については、閉校の実行委員会を立ち上げるので、実行委員会と相談しながら決めていく予定である。

また、総務部会の検討事項として、「地域行事」や「交流行事」が挙がっていたが、これらについては、現在も緑が丘の3校合同PTA組織で計画・

実施されている事項なので、PTA 部会で検討していただくこととして、総務部会の検討項目からは外すこととした。

(委員長)

ただ今報告のあった事項について、皆様のご意見を伺いたいと思うがいかがか。

特にご意見もないようなので、総務部会においては、このまま引き続き協議願う。

(2) P T A 部会

(部会長)

前回の統合準備委員会で提案した内容について、現在、緑が丘地域の P T A 部会で検討しているところである。その結果を踏まえて、今後部会で協議をしていく予定である。

(委員長)

PTA 部会で調整をして、協議を進めていってほしい。

(3) 学校運営部会

(部会長)

前回の統合準備委員会以降、志染中学校と緑が丘中学校の担当者による打ち合わせ会を延べ16回実施した。

生徒指導の担当者による打ち合わせ会では、まず、両校の校則の違いについて洗い出してみた。例えば、かばんに付ける目印のためのキーホルダーや防寒着について等、違っていることが多くあった。現在は規則の改定にかかっているところである。基本的な方針としては、志染中学校の生徒が統合した時に生活しづらくなることがないように配慮して、規則を改訂していく。

教科においては、例えば美術においては、「三木の刃物について」学習する際に、志染中学校では木彫をしているが、緑が丘中学校では篆刻(てんこく)をしている等、細かな違いが様々ある。使用している資料集も違う。したがって、来年度は、新1、2年生については、制作する作品や使用する画材や材料も統一していけたらという話をしている。

さらに、例えば英語授業では、デジタル教材をどのように使用するのか、ペアワークを活動の中にどのように取り入れていくのか、授業のあいさつは英語でするのか、発表は立ってするのか等、本当に細かなことについても、子どもたちが戸惑わないようにしようと考えているところである。

また統合に該当する学年については、交流をどのようにするのかとい

うことも考えている。例えば、緑が丘中学校の合唱祭へ志染中学校の生徒を招待できないか、その場で志染中学校の生徒も合唱を披露することはできないか、あるいは、合同の校外学習を防災公園でできないか等、これから様々な調整が必要になるが、担当者同士でいろいろな可能性を探っているところである。

(委員長)

学校運営部会では、かなり細かな打ち合わせを進めていただいている。ただ今報告のあった事項について、皆様のご意見を伺いたいと思うがいかがか。

特にご意見もないようなので、子どもたちのために、このまま引き続き進めていっていただきたい。

(4) 通学・安全部会

(部会長)

通学においては、「青山の坂が急で危険である。」という意見があり、多くの保護者が、バス通学ができる体制を希望している。それが可能かどうか、市教育委員会に検討を依頼していた。そして、検討された内容について、通学・安全部会で報告いただいた。どのような内容であったか、事務局に説明願いたい。

(事務局)

通学・安全部会から、バスによる通学について、市教育委員会への検討依頼が2点あった。

1点目は、先に市教育委員会が示したバス通学案について、さらに多くの生徒が利用することができないかということ。つまり、基準を6kmとしているが、短くすることはできないかということ。

2点目は、現在の通学方法と同様に志染中学校に徒歩又は自転車で集まり、志染中学校から緑が丘中学校までをバスで往復することができないかということ。

以上の点について、市教育委員会で検討し、その結果を通学・安全部会へ報告した。

1点目について、市教育委員会としては、中学校の通学距離については、「おおむね6km以上は通学バス又は自転車によるものとする。」という考え方に変更はなく、基準を短くして、6km未満の地区もバス通学にするということはない。

2点目について、市教育委員会としては、現在の通学方法と同様に志染中学校に徒歩又は自転車で集まり、志染中学校から緑が丘中学校までをバスで往復するということには賛成である。

それに加えて、10月30日に開催された市政懇談会において、「青山5丁目まで運行している路線バスを志染地区まで延伸してほしい。」との要望が区長からあったということを知っている。

教育委員会としては、このような状況を踏まえ、バス会社と路線バスの延伸について協議を行っている。

仮に路線バスの延伸が実現した場合、子どもたちがバスの乗降をする場所を志染中学校前のバス停に指定し、自転車置き場は、必要な安全対策を行った上で現在の志染中学校の駐輪場を利用するか、志染町公民館もしくはデイサービスの敷地に新設することができないかを検討する。

また、日常の通学や休日及び長期休業中の部活動等に対応するためには、どのような時間帯のバスを延伸することが望ましいのか、緑が丘中学校の担当者と打ち合わせを行った。その上で、バス会社とも協議を行っている。

路線バスの定期代については、現在検討中である。路線バスを利用する生徒について、全ての生徒が全額補助になるというのは難しいと考えている。

さらに、路線バスの延伸が実現した場合、バスによる通学か自転車による通学かを選択できるようになるかどうかは、今後、部会と一緒に検討していこうと考えている。

#### (部会長)

今、事務局から説明のあったように協議を進めてもらっている。

今、朝に1本、志染町公民館前から緑が丘方面にバスが出ている。その路線バスがどんな利用状況なのか、実際に乗車してみた。

12月17日に乗車したときには、高校生が4人だけ乗っていた。あと女性が1人乗っておられたが、青山5丁目のバス停で降車され、そのままバス停におられたので、西神方面のバスに乗り継ぎをされるのかなと思った。

次に、2月14日に乗車したときには、高校生は2人だけ乗っていた。緑が丘駅まで乗っていったのだが、途中から大人の方が4人だけ乗ってこられた。逆に、緑が丘駅から青山5丁目行のバスを待っていると、高校生が20人くらい並んでいた。

そういう現状を考えると、志染から緑が丘方面へのバスを実現するのは、バス会社としても難しいのではないかという印象を受けた。しかし、できれば1便でも多く実現して、生徒たちが利用しやすい状況にしたいだけだとありがたい。

部会でも検討した結果、市教育委員会には、路線バスを利用して通学する方法が実現するようにバス会社と協議してほしいという意見になった。統合準備委員会としても、路線バスを利用して通学する方法について協議を進めていくということにご賛同いただきたい。

また、路線バスの実現の状況を見て、自転車通学かバス通学かを選択できるということについても決めていきたい。しかし、その結果が出るのを待っていては遅いので、危険箇所等のことについては、市教育委員会にも調査してもらっており、部会でも安全な通学路について検討を進めている。検討した結果については、また後日報告したいと考えている。

(委員長)

ただ今報告のあった事項について、皆様のご意見を伺いたいと思うがいかがか。

(委員)

路線バスの延伸が実現すれば、バスか自転車の選択肢があるということではよいか。

(部会長)

それについては、バスがどうなるか決まらないと協議できない。

(委員)

スクールバスによる通学の案は、路線バスの延伸が可能になれば無くなるのか。

(部会長)

路線バスの延伸が実現すれば、スクールバスによる通学の案は無くなる。

(委員)

バス会社との協議もあり、市教育委員会としての準備もある。その中で、最終的にはいつまでに決定しておかないといけないのか。

(事務局)

6月くらいまでに決定しておかないといけないと考えている。

路線バスの延伸が実現しなかった場合、代替案を考えなければならない。代替案を考えると、半年以上前には決めておきたい。市教育委員会としては、できれば5～6月くらいにまとめたいと考えている。

(委員長)

この件については、現在進行中ということで、早い方がいいと思うが、6月を目途にバス会社と協議していただきたい。

(部会長)

路線バスを利用して通学する方法が実現すると、スクールバスによる通学案は無くなるという方向になることを、統合準備委員会で承認いただきたい。

(委員長)

今、部会長から出された承認事項についてご審議いただきたい。

路線バスを利用した通学が可能になれば、スクールバスによる通学案は廃止にし、路線バスを利用して通学する方法に一本化する、そういう方向で努力する、ということによろしいか。

【異論なし】

異論も無いようなので、この件については承認とする。

今後は、路線バスを利用して通学する方法について協議を進めていってほしい。

#### 4 次回の日程等について

(事務局)

今回は、5月中旬から下旬で予定している。

ただし、路線バスに関わる協議等で進展や変更が生じ、急遽統合準備委員会を開催したいということがあるかもしれないので、その時はご協力いただきたい。しかし、新型コロナウイルス感染症対策が、今よりも厳しい状況になっているということも考えられる。

もしそのように会議を開催しづらい状況の場合、メールによって報告事項を委員の皆様にお知らせをする、また承認事項についても、メールで皆様にお知らせをして、メールで意見を返信していただき、集約したものを再度メールでお知らせする、という流れで承認いただく。変則的ではあるが、あくまでも緊急の場合の措置として、集まらなくてもメールを通じて意見交換をする方法について承認願いたい。

また、各部会においても集まって会議を開くのが厳しい状況の場合、部会長がメールで意見をまとめていくということ、緊急的な措置として承認いただければと考えている。

(委員長)

できるだけ会を開催した方が協議を進めやすいと思うが、こういう状況であるので、適宜状況を見ながら判断をし、その上で進めていただければと思う。

ただし、通学・安全部会の案件は非常に重要であるので、できれば会を開いて協議すべきであると思う。

(事務局)

その時の状況を判断し、委員長、副委員長、各部会長と相談した上で進めさせていただく。

## 5 閉会（副委員長あいさつ）

(副委員長)

新型コロナウイルスの影響で、市全体としても、教育委員会も、先が見えない大変な状況であると思う。

そんな中、委員の皆様には統合に向けてご協議いただいている。

どの部会も内容が盛りだくさんだが、通学・安全部会については、一歩進んだという印象である。

各部会も教育委員会も、引き続きよろしく願います。